

会 議 録

会議名称	タウンミーティング (今浜)	記録者	農林水産課 課長補佐
日 時	平成29年10月12日(木) 午後7時～午後8時30分		
場 所	今浜会館		
出席者	町 : 町長、教育長、参事、財政課長、企画振興課長、 健康福祉課長、地域整備課長、学校教育課長、危機管理室長 情報推進課長 区長会 : 今浜区長 住 民 : 43人		
会議内容	1 開会 2 町長あいさつ 3 出席者紹介・開催趣旨説明(参事) 4 町政報告(財政課長、企画振興課長) 5 意見交換 ・小学校・保育所統廃合について(学校教育課長・健康福祉課長) ・下水道使用料について(地域整備課長) ・地区等からの要望等 6 フリートーク 7 閉会		
会議結果	【小学校、保育所の統廃合について】 ●質問 (資料に基づき質問) ・学校規模の標準と記されているが、児童数は枠をはめているのではなく、あくまで標準という考え方ではないのか。標準であれば外れても構わないのではないのか。 ・望ましい学級数という言葉が文部科学省は使っているのか。 ・1学年1学級とあるが、これにとられなくても良いと思う。 ・運動会等でも数が少ないと、教育効果が下がるとなっているが、それぞれの学校で色々なことをやっている。やり方を工夫すれば問題ない。 ・教科等が得意な子どもの考えにクラス全体が引っ張られるとなっているが、そんなことはない。事実であれば、担当教員の資質が問われる。公文書への掲載はいかがなものか。 ・教員と児童生徒との心理的な距離が近くなり過ぎるとあるが、一般的にこのような言葉を掲載するのはいかがなものか。		

- ・班活動やグループ分けに制約が生じるとあるが、工夫次第でいくらでもできる。
- ・学校統合を選択しない場合のメリット、デメリットが記載してあるが、地域の視点が何も書かれていない。問題外である。
- ・公費が負担するお金の面ばかりが強調されているが、保護者の負担が現れていない。また、学校が地域にあることは、地域の文化であり、お金では計れない。

○回答：町長

- ・学校、保育所の統廃合については、統合ありきではなく、地域の人々の色々な考えを聞いて決定します。

○回答：学校教育課長

- ・資料は、文部科学省の公表に基づいて作成したもので、町の考え方を入れて掲載したものではありません。

●質問

- ・町長の選挙公約では統合をしないと書いていたが、このままでは20年先は子どもの数が半分になる。ほっておくのではなく、子どもを増やす施策をお願いしたい。増加は厳しいと思うが、婚活運動など少子化運動に立ち向かい、なんとか現状維持をお願いしたい。

○回答：町長

- ・本町も色々な施策を行っているが、アピールがうまくない。よその人から良い町、住みたい町と思っていただけるようにしたい。

■意見

- ・小学校、保育所の統廃合については、費用的な面では統廃合が妥当だと思う。ただ、地域の人たちの意見も大切である。昔の小中学校の統廃合では、むしろ旗での反対もあったと聞いている。どうすれば、住民の望む形になるのか検討いただきたい。
私は、子ども達はたくさんの人数でいるのが望ましいと思います。

【下水道使用料について】

□町長より

- ・会計上は厳しいが、もう少し値下げをしたい。
- ・加入している人としていない人との不公平感がある。罰則はないが、何か対策を考えたいと思っている。

【地区等からの要望等】

●質問

- ・相続放棄、不明の空家対策

○回答：危機管理室長

- ・昨今、少子高齢化や人口の減少など社会構造の変化により、「空き家」が増加していることが全国的に問題となっており、宝達志水町も例外ではありません。

対策として、空き家の所有者や相続された方等が管理をしていただくことを基本としていますが、空き家が老朽化等で危険な場合は、町が所有者等に対し助言・指導、勧告等を文書で通知し管理の指導を行っています。

ご指摘の相続放棄の空き家に対しては、民法940条で「相続放棄をした者は、その放棄によって相続人となった者が相続財産の管理を始めることができるまで、自己の財産におけるのと同一の注意をもって、その財産の管理を継続しなければならない。」と明記されており、相続放棄をした途端に相続財産から無関係になるわけではないので、町から管理者に対し適正に管理するよう指導を行います。また、町ではこのような空き家が増えないよう、空き家を利活用する空き家のバンク制度に登録していただき「空き家改修費等助成金制度」などを活用してもらい移住・定住の促進を図っています。

このことにより、空き家を利活用することで老朽化等を防ぐことができます。今後は、上記の制度を所有者等に周知を図り多くの方に利用していただきたいと考えております。

●質問

- ・企業誘致活動を専門に行う課をつくり、企業誘致を積極的に進めてほしい。

(若者が町を離れないように、企業をたくさん誘致してほしい。)

○回答：企画振興課長

- ・企業誘致業務は企画振興課で担当しております。

企業誘致は、産業の発展と雇用機会の拡大を図り、若者等の流出防止及び町の経済の健全な発展のために必要であります。また、総合戦略においても、その重要性、必要性を示し企業誘致を推進していくこととしております。

そのような中で今年度、企業立地促進条例を改正し各種助成金の助成率を拡充し今までより優位に誘致活動に活用できることとしました。

今後、誘致をより一層強力に行うため県とのパイプを密にして推進するとともに、石川県人会等の組織・人脈ネットワークを最大限に活用し、積極的に取り組んでいます。

●質問

- ・婚活支援課を作って、町主導で婚活を進めてほしい。

○回答：健康福祉課長

- ・本町では、健康福祉課が婚活支援事業として、次の2つの事業を行っています。

1 宝の縁むすび事業

結婚アドバイザーを委嘱し、結婚を希望する若者（登録制）の紹介活動を行っている。

結婚アドバイザー6人、相談登録者8人

現在1組が交際中

2 宝達志水町婚活支援事業費補助金

男女の健全な出会いの機会を創出する交流事業および異性とのコミュニケーション能力の向上を図る事業等を実施した団体に、補助金（上限20万円）を交付する。

●質問

- ・相見川河川敷堆積土砂の除去

○回答：地域整備課長

- ・河川敷の堆積土砂等については、町内の河川においては、いずれも堆積土砂や雑木が生えるなど、川の流れを阻害しており、二級河川を管理する石川県へも改善の要望をしているところです。

県においては、過去の浸水状況や土砂の堆積状況を考慮しながら実施しているところですが、限られた予算の中で、全ての河川において適正な管理が行われていない状況です。

町内各河川でも同様な状況となっていることから、各地区からも改善の要望が多数寄せられており、引き続き、石川県や関係機関へ要望をしているところです。

(参考) ※町内の県管理の二級河川は13河川、町管理の普通河川は23河川あります。

【近年の堆積土除去実績】

・H26 年度実施

子浦川(子浦)、向瀬川(石坂)、相見川(南吉田)、前田川(北川尻)、宝達川(小川)

・H27 年度実施

子浦川(散田)、前田川(免田)、宝達川(河原、山崎)、長者川(敷浪)

・H28 年度実施

宝達川(小川)、長者川(柳瀬)

●質問

- ・町道今浜1号線改良舗装（KISTEC から町道麦生今浜線まで）

○回答：地域整備課長

- ・当該道路については、町道に認定されておりますが、現状は木々が覆い繁り道路として機能していないことは町としても把握しております。
- ・今浜区からも継続的に要望されておりますが、整備が行き届いていない状況です。
- ・今回の要望にもあるように、町道今浜2号線に大型車が通ることによって付近の家屋に振動等による支障があるとのことから、現地を再度確認させていただき、町道今浜1号線の新たな改良が良いのか、町道今浜2号線の側溝改良及び舗装等の修繕を行うことで解消できないものか、などを今浜区と一緒に考えながら、道路改良に要する予算の確保、費用対効果、集落負担金などについて協議していきたいと考えております。

●質問

- ・冠水対策

①県道今浜駐在所から佐藤宅まで

②梅田川の国道下暗渠の大規模化

○回答：地域整備課長

- ①今浜区内の冠水については、町では平成22年度に冠水対策調査を実施し、石川県とも協議しながら平成25年度に今浜駐在所裏から下流側排水路の改修や中山宅前の県道宝達今浜線の排水路改修を行い、冠水について本年7月の梅雨前線による大雨時においても大きな冠水被害は発生していないため一定の成果はあっていると感じております。

今回の要望箇所である今浜集落中心部の冠水対策についても、継続して今浜区からの要望は把握しておりますので、今後は予算の確保を始め、側溝の改良を含めた工事実施に向け、今浜区と協議を行いながら優先順位の高い地域からの整備を検討していきたいと考えております。

- ②当該地区については、平成26年度に町で冠水対策調査を実施し、道路排水が集中する側溝の一部改良及び平成28年度には当該道路の既設水路の改良工事を実施しましたところ、本年7月の集中豪雨時において冠水は発生していないため一定の成果はあったかと思っております。

今回の要望にある国道下暗渠の大規模化については、国道249号

の管理者である石川県や道路の埋設物（上下水道など）の支障等も考慮した上で、慎重に協議を進めていきたいと考えています。

【フリートーク】

●質問

- ・企業誘致については、専属の職員は何人いるのか。

○回答：参事

- ・企業誘致専属の職員はいない。役場職員は保育士、看護師等を除いて、約130人いますが、専門の課、専属の職員を配置するのは難しいのが現状です。

●質問

- ・兼務で成果を出すのは難しい。集中的に専門の人にやっていただきたい。補助金等で民間に任せるのではなく、町が主導でやっていただきたい。

○回答：町長

- ・町では正直今のところは難しい。民間でアイデアを持った方にやらせようと考えているが、もう少し検討したい。

●質問

- ・空き家対策で相続放棄者も全く分からない場合はどうするのか。

○回答：参事

- ・その空き家が、隣接に危険な影響を及ぼすような状態であれば、応急措置として、シートを被せて保護したことも過去にはあった。

○回答：町長

今後、抜本的な対策も検討したい。

●質問

- ・今浜区から県関係の事業も色々要望をしているが、県へも強く働きかけをやっていただきたい。

○回答：参事

- ・常々機会をつくって働きかけを行っている。また、文書を作成し、県、国の機関などにも積極的に要望活動を行っている。

●質問

- ・区の要望として27項目を提出しているが、その中でも県道の融雪装置は10年以上全くされていない。事業の実施はむずかしいのか。

○回答：地域整備課長

- ・近隣の市町に調査をしたが、県道の融雪は全てストップしている現状です。ただ、今後も粘り強く要望します。

●質問

- ・空家対策で相続放棄の話が出たが、これからもっと出てくる。相続を放棄した者でも次の管理者が見つかるまで、未来永劫管理しなければならないのか。

○回答：危機管理室長

- ・法的には、管理者が見つかるまでとなっています。

●質問

- ・押水運動公園の野球場は今後どうなるのか。

○回答：町長

- ・芝生を活かし、遊具等を設置した公園整備を考えています。町民のみなさんで楽しめる施設にしたいと思っております。